

空手

NETWORK

カラテ・ネットワーク

2004
3/1 MON.
No.10

発行/山形県空手道連盟
制作/山形県空手道連盟普及部

第三回

日本スポーツマスターーズ 和歌山大会

平成15年9月20日(土)～22日(月)会場/和歌山県白浜町立総合体育館

飛鳥宗一郎氏(県連会長)男子組手6部 堂々の準優勝



月刊「ジェイケイ・ファン」12月号にカラーページで紹介

月刊「ジェイケイ・ファン」12月号表紙

「実践！生涯武道」を合言葉にいぶし銀たちが奮い立つ。実践、生涯武道を行なわれる日本スポーツマスターーズ空手道競技。第3回目を迎える今大会は和歌山県白浜町立総合体育館にて開催された。参加人数も年々増加の一途を辿り、今年は昨年より24名多い348名が出場。白熱の攻防が繰り広げられ県連から5名の選手が出場。男子組手6部決勝戦では、昨年3位の飛鳥宗一郎氏と岩手県連

の会長を務める昨年準優勝、箱石勝見氏との会長同士の決勝対決となつた。

以下は、月刊「ジェイケイ・ファン」より引用

65歳以上の部
歓声に包まれた

大柄な飛鳥と小兵の箱石、怒濤のように攻める飛鳥に対して、箱石はその間隙を縫うようにして返す。互いに突き技でポイントを取り合いながら4-1-2で箱石リード。その後お互い2度目の強打で警告となり1ポイントずつを相手に献上。両者ともに気合充分だが、どちらかとどうと箱石の方が張り切っているようで、審判の「始め！」がかかる前に突っ込んでいき、審判から指導を受ける場面も多く見られた。

後半戦に入り箱石は相手の上段突きを捌いての上段突き、回し蹴りの出会いを取った中段突きなど、ポイントを重ね、残り時間2秒のところで10-4と6ポイント差を付けて勝利！ほとんどフルタイムを使っての6ポイント差勝利であった。

惜しくも準優勝となつた飛鳥は「こちらの攻撃を読まれてタイミングを合わせられたようですが、途中で勝利に対する執着心がなくなつてしまい不本意な結果となつてしましました。しかし昨年は3位、今年は2位。来年は是非優勝を狙いたいと思います」と捲土重來を期した。

本県選手の結果は次のとおりです。



飛鳥会長大会レポート

★星川紀郎
(組手:第三部50～54歳)
二回戦対戦なし

★原田秀明
(組手:第三部50～54歳)
二回戦負け根橋(長野県)

二回戦負け西垣(滋賀県)

★梅津孝夫
(組手:第五部60～64歳)
二回戦負け古稻(群馬県)

二回戦負け戸倉(山口県)
二回戦負け戸倉(山口県)

★飛鳥宗一郎
(組手:第六部65歳以上)
二回戦対戦なし

二回戦勝ち加藤(富山県)
準決勝勝ち磯村(北海道)

準決勝負け箱石(岩手県)
準優勝

★山口敦子
(女子形 第一部40～49歳)
二回戦負け稲田(兵庫県)

二回戦勝ち中村(愛知県)
準決勝負け箱石(岩手県)
準優勝

★中村雄一郎
(男子形 第三部60歳以上)
二回戦負け真下(千葉県)

★山口敦子
(女子形 第一部40～49歳)
二回戦負け稲田(兵庫県)

二回戦勝ち中村(愛知県)
準決勝負け箱石(岩手県)
準優勝

★中村雄一郎
(男子形 第三部60歳以上)
二回戦負け真下(千葉県)

★山口敦子
(女子形 第一部40～49歳)
二回戦負け稲田(兵庫県)

二回戦勝ち中村(愛知県)
準決勝負け箱石(岩手県)
準優勝

★中村雄一郎
(男子形 第三部60歳以上)
二回戦負け真下(千葉県)

二回戦勝ち中村(愛知県)
準決勝負け箱石(岩手県)
準優勝

★中村雄一郎
(男子形 第三部60歳以上)
二回

新ルール採用から二年

〈組手と形のポイント解説〉 競技部長 深

平成14年度より(財)全日本空手道連盟の競技規定がWKF(世界空手道連盟)のルールを採用することになり大きく改正されました。それに伴い県内の各種大会も組手競技は平成14年度より一部採用15年度からは全面採用となり2年間がすぎました。審判の方々は大分慣れてきまし



全 日 本 空 手 道 連 盟



▲写1 有效



▲写2 技あり



写3 一本



▲写4 反則C1



▲写5 反則CB

たが選手(ジュー)アや応援の組
観客、保護者の方からは不明瞭な点や理解できない所がある
という声があり県内大会を中心
心にわかりやすく審判のジャッジ
スチヤーを交えて説明します。
手競技では有効な技によ
てポイント数が明確になつた
事です。

- 一ホイント(主審用語は有効写1)は中段又は上段への突き、打ち技
- 二ボイント(主審用語は技あり、写2)は中段けり、背部への突き、複合の手技、相手を崩しての技
- 三ボイント(主審用語は一本写3)は上段けり、足払いでの

以上のことから突き技よりも
り技の方がポイント数が高い
のでけり技が多く出るようにな
りました。けり技を使いこ
なすには下半身の柔軟性、安
定性が必要です。けり技の練
習と共に基礎体力、足腰の強
化を怠ってはいけない事とし
つかりした突き技があつて、け
り技が生きてくると言つうこと
を忘れてはいけません。

反則はC-1(カターリー)、
C-2(カタゴリ)、
C-3(カタゴリ)、
C-4(カタゴリ)の4区分にわかれ
ております。

いる投げ技C-2は前記以外のすべての反則行為です。負傷を装うこと、場外に出ること、無防備、攻撃をしないで逃げること(逃避)、不必要的組み合いで押し合い、つかみ合い、危険で「フットボールできない技、頭部、ひじでの攻撃、主審の命令に従わないこと、相手に話しかけたり相手を刺激したり又は道徳に反する行為などがあげられています。C-1ーとC-2は組み合わされることはありませんが同じ反則をくり返した場合はそれぞれに計算され懲罰が与えられます。一回目の反則行為は忠告(相手にポイントなし)、二回目は警告(相手に有効1ー1ポイント)三回目は反則注意、相手に技あり(2ポイント)、四回目は反則(相手の勝ち)になります。勝敗の基準はポイント数の多いほうが勝ちになり、同点の場合は引き分けになり一分間の延長戦を行い先にポイントを取つたほうが勝ちになります。延長戦でもポイントがなかった場合は4人の審判(主審1、副審3)の赤、青の旗判定になります。2対2の同数の場合は主審の上げた方の選手が勝ちになります。競技は主審主導で行われます。

じトーナメントの旗判断官青の旗判官うになりまして、勝敗が決したが、見ておらずに勝敗が決したが、専門の競技ですが、ジュニアの審判は、参加人数の多いままに点を定めます。人の得点の高点、最低点の得点を定めます。人の得点の得点を定めます。それでも同じ得点の場合は、県連盟の判定基準によりて判定します。それでは、トした結果によつて判定します。そこで、形の得点などを判定します。形の強弱、呼吸、目付などです。形の強弱、呼吸、目付などです。また、常に

メント方式による判定で勝敗を決める。誰の目にも一目瞭然となる。わかるようになります。今大会では採用され、平成16年度より一部採用の予定です。アの競技では時間の関係上從来通りによる得点方式で、5人のなかで最も高い点をカットし中の合計点で順位を決定します。同点の場合は中3位で、高い方が勝ちとなる。でも同点の場合には再演武になります。この練習をするに際しては、気迫、全体の流れを判断して得点を出します。

意味を理解し、先に意識しながら反復意識しながら大切なことです。空手競技は選手が特に注意して重視からいくつがありますが次の競技においてボディー、セーフティ（のみ）は空手衣の義務づけられています。場合は直すのに時間があたえます。女子の選手はアビン、リボン及び装飾は禁止になつてます。最後に応援の方のお願いとますが応援の方は注意選手、監督、競技場にはいらしゃつて応援していくことは腕章（腕につけて身なりについて志す者として共に「清潔端整で過度の脱色、染髪具類等を禁止する規定でありますので下さいます。また、「大声での叱咤、対する不平等、一部選手が精神一杯力をできるように見

平成八年、大阪にて第四回全国中学校空手道選手権大会が開催され、崇武館新庄支部の会員で新庄市立日新中の男子六名、女子一名が出場したのが全国への挑戦の始まりでした。今、振りかえると中体連加盟にむけての大きな第二歩ではなかったのかと思

います。
この第四回大会より全空競技が主催となり、初めての全国規模の大会となりました。翌年の第五回の群馬大会より文部省の後援となり名称も全国中学生空手道選手権大会とな

って参加人数も多くなり、第六



▲平成15年8月8日～10日北海道道立総合体育センター。着実に力を伸ばしてきた県選手団。



▲全員で記念撮影。左端が菊池氏。

平成九年、中体連加盟にむけての第一歩として、この年長井で行われた県ジュニア選抜大会に

回の仙台大会から、インターハイと同様に県代表数は種目、二団体、二名と制限が設けられ、県予選会を経ての代表選考となりました。

第四回大会の出場以来毎年、全国の壁にはねかえされ続け来ましたが、私も第四回大会より毎年、審判員として参加し、つぶさに全国のレベルを肌で感じじとつきました。

全国レベルを目指すにはどうすれば良いか?いろいろと試行錯誤しましたが、まず選手の下半身の強化と集中力を高めるために、稽古の中で基

表となり、個人戦も男子は日本新中が名、明倫中が二名、女子も共に名ずつの出場となりました。戦績は明倫中が団体

組手で五位入賞、個人形競技にても予選通過し準決勝でもあと歩というところまでゆく

習は間違つていなかつたと実感しました。

崇武館新庄支部所属の日新中、明倫中、舟形中の中学生達が学校の部活以上の情熱で、空手道に取り組んでい

るのを見守りつけ、なんとか中学校に認めて頂き、これから要望して

きないものかと

前から要望して

きました。

この年長井で

行われた県ジュニア選抜大会に

平成十五年の札幌での十一回大会では競技に先立つて日新中が連続八回出場の表彰を受け、試合に向けて、一層気合が入った様でした。又この大会では競技に先立つて日新中が連続八回出場の表彰を受け、試合に向けて、一層気合が入った様でした。又この大会には吉田校長先生、明倫中の巨勢校長先生、顧問の後藤先生が引率されて私達も選手も心強い限りでした。

この大会では競技に先立つて日新中が連続八回出場の表彰を受け、試合に向けて、一層気合が入った様でした。又この大会には吉田校長先生、明倫中の巨勢校長先生、顧問の後藤先生が引率されて私達も選手も心強い限りでした。

成績の方も男子団体形八位、女子個人形六位入賞、男子の個人組手がベスト16、個人形が準決勝進出まで進み、この数年の強化が実を結びつつあることを確信しました。

又、団体組手競技では上位を狙う気持で臨んだのですが日新中が緒戦敗退、明倫中がベスト16止まりで、発勝負の恐さを思い知った次第でした。しかし確実に全国レベルに近づいていると思います。

これから課題として、中体連加盟に御尽力下された先生方の御恩に報いるためにも、有望な人材を途切れる事なく送り出し、継続発展出来るようより一層努力し、選手の育成に取り組んでいかねばならないと身を引き締めています。



最上地区中体連盟に加盟までの みちのり

強化部 菊池建治

本の重要性を説き、毎回の練習では集中力を持続しながら、目的意識を持って基本に取り組むように指導してきました。

次に県外の団体との交流を深め、組手の面でも強い選手との対戦で全国レベルを体験させてきました。近くは福島県、宮城県、遠くは青森県、九州の大分県まで遠征を重ねてきました。その成果が出て来たのが第十回の岡山大会でした。

この岡山大会より、明倫中も初出場を果たし、団体戦の形と組手に日新中と共にW代

した。その日は十一月と思えない厳しい寒さの中、熱心に観戦され、整然と運営される競技に感心され、選手達の真剣な試合に大いに感激されました。又、選手達も校長先生の応援に奮闘し、選手三人が形と組手のダブル優勝、一人が二つの一位を獲得する大活躍でした。

試合の合間に工藤理事長に紹介して、理事長から県高体連加盟時のいきさつなどお話をいただき、中体連加盟にむけての強力な、バツクアップとなりました。

その後、最上地区中体連の副会長である吉田校長先生が同じく会長の明倫中の三上校長先生に選抜大会の模様はじめ全国大会等で最上地区的中学生が頑張っていることを話され、三上校長先生も共感されて、両校長先生の心強いお力添えで東北地区で初めてとなる中体連の加盟が実現する運びになりました。この勢いを山形県中体連への加盟につながれば幸いに思います。

この年長井で

日新中の吉田校長先生に応援

に来ていただきました。

常日頃、選手達の活躍を聞い

てはいたものの、空手道の試合を見るのは初めてとの事で

した。その日は十一月と思え

ない厳しい寒さの中、熱心に観

戦され、整然と運営される競

技に感心され、選手達の真剣

な試合に大いに感激されてい

ました。又、選手達も校長先

生の応援に奮闘し、選手三人

が形と組手のダブル優勝、一人

が二つの一位を獲得する大活

躍でした。

大会ノイライト

平成15年度

A black and white photograph showing a large group of students in white uniforms with dark belts standing in several rows on a polished wooden floor. They appear to be in a gymnasium or large hall. In the background, there are rows of empty bleachers. On the far left, a vertical sign on a wall has the characters '育武館' (Yukugan) written on it. The students are looking towards the right side of the frame.

▼团体形(女子)
①鶴岡市立第五中
個人形(女子)
①土田ひかり(明倫中)
②渡谷紗季(川西二中)
個人形(女子)
①伊藤ひかり(明倫中)
②土田ひかり(明倫中)
権大会山形予選会
○平成15年6月8日(日)
県総合運動公園サブアリーナ
▼小学1年女子形
①伊藤希恵(白新中)
▼小学2年女子形
①佐々木梢(沼田小)
②小林未侑(沼田小)
▼小学3年女子形
①榮本愛香(北辰小)
②橋本香(北辰小)
▼小学4年女子形

▼女子形便個人(5年生の部)
敢闘賞佐々木 梓

第21回県ジュニア選手権大会
○平成15年7月1日～7月2日
市立スポーツセンター

組手(小学生男子3年)
田中亮(沼田小)

優勝 敬太(鶴岡斎小)
準優勝 亮(米沢南部小)

組手(小学生男子4年)
野口将(山形十小)

優勝 大洋(滝谷小)
準優勝 岩井大(宮内小)

組手(小学生男子5年)
後藤大(長井小)

優勝 伊藤開洋(滝谷小)
準優勝 佐藤哉(長井小)

組手(小学生男子6年)
瀬川賢(山形十小)

優勝 伊藤大(滝谷小)
準優勝 鈴木芳(山形十小)

組手(小学生男子7年)
瀬川賢(山形十小)

優勝 佐藤大(滝谷小)
準優勝 伊藤大(滝谷小)

組手(小学生男子8年)
瀬川賢(山形十小)

優勝 佐藤大(滝谷小)
準優勝 伊藤大(滝谷小)

組手(小学生男子9年)
瀬川賢(山形十小)

優勝 佐藤大(滝谷小)
準優勝 伊藤大(滝谷小)

組手(小学生男子10年)
瀬川賢(山形十小)

優勝 佐藤大(滝谷小)
準優勝 伊藤大(滝谷小)

組手(小学生男子11年)
瀬川賢(山形十小)

優勝 佐藤大(滝谷小)
準優勝 伊藤大(滝谷小)

組手(小学生男子12年)
瀬川賢(山形十小)

優勝 佐藤大(滝谷小)
準優勝 伊藤大(滝谷小)

組手(小学生男子13年)
瀬川賢(山形十小)

優勝 佐藤大(滝谷小)
準優勝 伊藤大(滝谷小)

組手(小学生男子14年)
瀬川賢(山形十小)

優勝 佐藤大(滝谷小)
準優勝 伊藤大(滝谷小)

組手(小学生男子15年)
瀬川賢(山形十小)

優勝 佐藤大(滝谷小)
準優勝 伊藤大(滝谷小)

③②①	佐 田 形	中 小 学 生 男 子 (2 年)	島 長 谷 川 佐 井 沢 藤	史 塚 飯 黒 小 学 生 男 子 (1 年)	寛 弥 斗 (山 形 七 小)	史 栄 美 (酒 田 三 中)	史 紗 理 (川 西 中)	明 佳 (山 形 四 中)	ひ かり (明 倫 館 五 中)	悠 和 紀 (鶴 岡 五 中)	彩 玲 和 新 中
③②①	佐 田 国 田	中 大 学 生 男 子 (2 年)	島 高 士 伊 須 森 高 奥	長 谷 川 中 大 学 生 男 子 (2 年)	史 原 渡 田 藤 山 取 山	寛 弥 斗 (朝 陽 五 小)	史 栄 美 (新 庄 少 年 大 志)	史 紗 理 (中 学 生 女 子 (3 年))	ひ かり (日 新 中)	悠 和 紀 (天 童 中)	彩 玲 和 新 中
③②①	佐 井 沢 健 太 郎	中 大 学 生 男 子 (2 年)	島 高 士 伊 須 森 高 奥	長 谷 川 中 大 学 生 男 子 (2 年)	史 原 渡 田 藤 山 取 山	寛 弥 斗 (朝 陽 五 小)	史 栄 美 (新 庄 少 年 大 志)	史 紗 理 (中 学 生 女 子 (3 年))	ひ かり (明 倫 館 五 中)	悠 和 紀 (天 童 中)	彩 玲 和 新 中
③②①	佐 井 沢 成 一 成	中 大 学 生 男 子 (2 年)	島 高 士 伊 須 森 高 奥	長 谷 川 中 大 学 生 男 子 (2 年)	史 原 渡 田 藤 山 取 山	寛 弥 斗 (朝 陽 五 小)	史 栄 美 (新 庄 少 年 大 志)	史 紗 理 (中 学 生 女 子 (3 年))	ひ かり (明 倫 館 五 中)	悠 和 紀 (天 童 中)	彩 玲 和 新 中

○平成15年5月11日(日)	○第33回県社会人選手権大会
○山形県武道館	▼組手団体
①安達道場	①組手個人(女子)
②東塗装(株)山形工場	①鈴木 蘭(株)スカブ看板
③佐藤藤木	②佐藤藤木 萌(株)ファイブ
④内海	③(株)フオックス
⑤佐藤藤木 喜司(有)アマーズ	▼組手個人(有級者)
⑥浅野厚司(有)アマーズ	①鈴木 健司(有)アマーズ
⑦クラブ赤アクトンボ	②林崎朋義東レ-SMC-
⑧林崎朋義東レ-SMC-	③組手個人(35歳以上)
⑨佐藤直記(山形県庁クリエイト)	④佐藤直記(山形県庁クリエイト)
⑩一夫(山形県庁)	⑤藤本一夫(山形県庁)
⑪勝(山形県庁)	⑬舟片鉛(北辰工業株)
⑫越倉俊(有段者)	⑭佐藤和徳(小関設備)
⑬佐藤和徳(小関設備)	⑮正徳(出羽工務所)
⑭舟片鉛(北辰工業株)	⑯奈(山形トヨヅミ)
⑮正徳(出羽工務所)	
⑯奈(山形トヨヅミ)	

形(有段者)	①林崎木健明	形(有段者)	①重野誠司(株)遠藤電機
②鈴木	②佐藤和直	②佐藤和直	②典(羽工務所)
③佐藤和直	記(有)マンガワ	③佐藤和直	記(有)マンガワ
エイド	義(東ソ一SMC)	エイド	義(東ソ一SMC)
○平成15年6月8日(日)	○平成15年6月8日(日)	○平成15年6月8日(日)	○平成15年6月8日(日)
◎県総合運動公園サブアリーナ	◎県総合運動公園サブアリーナ	◎県総合運動公園サブアリーナ	◎県総合運動公園サブアリーナ
団体組手(男子)	団体組手(男子)	団体組手(男子)	団体組手(男子)
①新庄市立明倫中	①新庄市立明倫中	①新庄市立明倫中	①新庄市立明倫中
②新庄市立明倫中	②新庄市立明倫中	②新庄市立明倫中	②新庄市立明倫中
団体形(男子)	団体形(男子)	団体形(男子)	団体形(男子)
①新庄市立明倫中	①新庄市立明倫中	①新庄市立明倫中	①新庄市立明倫中
個人組手(男子)	個人組手(男子)	個人組手(男子)	個人組手(男子)
①新庄市立明倫中	①新庄市立明倫中	①新庄市立明倫中	①新庄市立明倫中
個人形(男子)	個人形(男子)	個人形(男子)	個人形(男子)
①加藤修太郎(曰新中)	①加藤修太郎(曰新中)	①加藤修太郎(曰新中)	①加藤修太郎(曰新中)
団体組手(女子)	団体組手(女子)	団体組手(女子)	団体組手(女子)
②田中葵(曰新中)	②田中葵(曰新中)	②田中葵(曰新中)	②田中葵(曰新中)
団体組手(女子)	団体組手(女子)	団体組手(女子)	団体組手(女子)
③田中秀興(曰新中)	③田中秀興(曰新中)	③田中秀興(曰新中)	③田中秀興(曰新中)

▼男子団体形
1位曰新中

▼女子団体形
3位鶴岡第五中

▼男子団体組手
1位明倫中

3位曰新中

▼女子団体組手
3位鶴岡第五中

▼男子団体組手
1位明倫中

▼男子団体形
8位曰新中

▼男子個人組手
ベスト16加藤

▼女子個人形
6位伊藤

▼女子個人形
藤修太郎

▼女子手相人(4年生の部)
敢闘賞国分瑞穂

▼男子形個人(5年生の部)
3位伊藤雅人

▼女子形個人(1年生の部)
柔道賞伊藤希望

○平成15年8月3日 東京武道館

○第3回全日本少年少女空手道大会

形	小学生男女(6年)	形	小学生男女(6年)
▼	形	形	形
形	小学生女子(5年)	形	小学生女子(5年)
▼	形	形	形
形	小学生女子(4年)	形	小学生女子(4年)
▼	形	形	形
形	小学生女子(3年)	形	小学生女子(3年)
▼	形	形	形
形	小学生女子(2年)	形	小学生女子(2年)
▼	形	形	形
形	伊藤 崇郎(大山小) 藤谷 順宗郎(大山小) 本渡 浩(大山小)	形	伊藤 功(日新小) 貴(日新小)
▼	形	形	形
形	星川 泽奈苗(桜田小) 間藤 希(浜田小) 佐々木未(沼田小)	形	星川 泽奈苗(桜田小) 間藤 希(浜田小) 佐々木未(沼田小)
▼	形	形	形
形	桃(沼田小) 柳(大沢小) 野(本郷東小) 季(南沼原小)	形	桃(沼田小) 柳(大沢小) 野(本郷東小) 季(南沼原小)
▼	形	形	形
形	江口 愛(堀内小) 坂上 穂香(新庄小) 林分 稲薰(沼田小)	形	江口 愛(堀内小) 坂上 穂香(新庄小) 林分 稲薰(沼田小)
▼	形	形	形
形	佐々木 榉(沼田小) 荒川 聰(日新小) 東海林 聰(童長岡小)	形	佐々木 榉(沼田小) 荒川 聰(日新小) 東海林 聰(童長岡小)
▼	形	形	形
形	井 佳奈(新庄小) 渡 佳奈(新庄小) 井 佳奈(新庄小)	形	井 佳奈(新庄小) 渡 佳奈(新庄小) 井 佳奈(新庄小)
▼	形	形	形
形	穂奈美(寒河江小) 美(寒河江小)	形	穂奈美(寒河江小) 美(寒河江小)
▼	形	形	形
形	井 佳奈(新庄小) 井 佳奈(新庄小)	形	井 佳奈(新庄小) 井 佳奈(新庄小)



第36回山形県空手道選手権大会	○酒田市立泉小学校体育館
平成15年9月21日	
○佐藤貴也(高校男子)	形(高校男子)
○佐藤哲也(高校女子)	形(高校女子)
○行(大山)大山(大山)	形(一般男子)
○行(大太)大太(大太)	形(一般女子)
○仁(東海大山)東海大山(大山)	真由美(崇武館本部)
○彦(健成館)崇武館(本部)	眞由美(崇武館本部)
○光(東海大山)東海大山(大山)	睦(天童高校)
○司(長井空手道)長井空手道(大山)	己(東海大山)東海大山(大山)
○横(莊空館)莊空館(大山)	恒(瀬原伸)瀬原伸(大山)
○学(東海大山)東海大山(大山)	翔(朱原伸)朱原伸(大山)
○朱(東海大山)東海大山(大山)	祐(新庄市役所)新庄市役所(大山)
○太(莊空館)莊空館(大山)	祐(新庄市役所)新庄市役所(大山)
○人(深瀬道場)深瀬道場(大山)	祐(新庄市役所)新庄市役所(大山)
○崇武館(本部)崇武館(本部)	禪(崇武館本部)崇武館本部(大山)
○弘(山形大学)山形大学(大山)	秀和(東北芸工大)東北芸工大(大山)
○明(山形大学)山形大学(大山)	健太郎(崇武館本部)崇武館本部(大山)
○佐藤重行(山形大太)山形大太(大太)	眞奈美(南陽高校)南陽高校(大山)
○佐藤貴也(崇武館本部)崇武館本部(大山)	眞奈美(崇武館本部)崇武館本部(大山)



▼成年男子組手	伊藤 誠	司一回戦敗退
▼成年男子組手(重量級)	伊藤 喬一	回戦敗退
▼少年男子組手	佐竹 良江	江2回戦敗退
▼少年女子形	佐竹 瀬伸	祐1回戦敗退
▼成年男子組手	伊藤 善安	善安5位入賞
▼成年男子組手(重量級)	伊藤 喬一	回戦敗退
▼小座間寛人	伊藤 喬一	2回戦敗退
▼成年男子組手団体戦	伊藤 喬一	山形県1回戦敗退

空手あれ談話（七）

山形県空手道連盟会長

飛鳥宗一郎

船越義珍の空手道二十ヶ条（その一）

富名腰義珍（八七六年九月、後に船越と改姓。以下、船越と記す）は沖縄県那覇市に生まれ、大正十二年（一九二三）

五月、本土における最初の空手道公式紹介者で、後に東京都雜司ヶ谷に「松濤館」道場を開設し松濤館流の開祖となる

船越が本土普及の嚆矢となつたのは紛れもない事実で、間もなく大学空手部誕生につな

りました。

至極当たり前のことで、心技体の充実を目指すなら、全

てこの言葉どおりと言えます。私は今まで細々と練習を

続けられて幸いでした。

空手を始めて間もない人達は、このことを忘れないでください。

最初が肝心なのです。

長い間にわたり空手を続けてきた人達は、自己管理がで

きていると思うかも知れない

が油断大敵で、つい楽な方に

足先が向くので注意してください。

さい。

第一回 負けぬ考へは持つな、

美空ひばりの大ヒット曲「柔

よ」と唱つております。

試合などで、勝つことには

かりに気持ちが片寄ると、相

手が見えなくなり、適切な判

断ができません。また、あまり

に積極的過ぎると、謙遜の心

を失いやすく、かえって欠点を

つくってしまいます。「負けず

嫌い」もいいのですが、何時も

がる功績は大きい。

この「二十ヶ条」は、空手道

を技術面だけに偏する危険から、

船越の指導哲学が表明された

もので、前回は第十条まで解

述したので、今回は最終条まで解

りました。

船越が本土普及の嚆矢となつたのは紛れもない事実で、間もなく大学空手部誕生につな

も少なく大学空手部誕生につな

りました。

それでは、練習を休んでしまえば必ずどうなるのでしょうか。

も少なく大学空手部誕生につな

ります。

まず、内心（身）は毅然たる信念と実力を持ちながら、外見は心底から温和に人と接触できるなど望ましい姿です。実

力の裏付けがあつて、試合や練

習でも同様に振る舞えるなら、常

本物の「君子の武」と呼ぶに

ふさわしいのです。

「負けぬ考へ」の方ですが、

これは最も強い人間を作るの

です。

第十二条 敵によって転化せよ

空手道に限らず全ての武道は、

相手があつて存在します。常

に相手の存在を意識して練習

に励み継続することです。

組手の練習では、相手の状

況によって多くの変化が求め

られます。これをオープンス

キル（開放的技能）と呼んでお

ります。

一方、単独で形の練習を行つ

たり、点数制の形競技の場合には、

自分自身との闘争（心理状態）

や周囲の状況（コートの状況、

声援など）が力を十分出せる

かどうかの要件になり、これ

をクローズドスキル（閉鎖的

技能）と言います。

ところが、平成十五年度の

公式試合から形競技もトーナ

メント制になりました。対戦

相手によって形を選び、順番が

先か後かで戦術があつたり、心

の動きや行動が過激になり、周

囲との摩擦が強くなり嫌われ

る原因を作つてしまします。

試合だけでなく練習でも、「嫌

な奴」と思われるで何う得は

ありません。周囲から良い知

恵を貰えなくなるからです。

外柔内剛と言う言葉があり

ます。内心（身）は毅然たる信

念と実力を持ちながら、外見

は心底から温和に人と接触で

できるなど望ましい姿です。実

力の裏付けがあつて、試合や練

習でも同様に振る舞えるなら、常

に相手の存在を意識して練習

に励み継続することです。

組手の練習では、相手の状

況によって多くの変化が求め

られます。これをオープンス

キル（開放的技能）と呼んでお

ります。

一方、単独で形の練習を行つ

たり、点数制の形競技の場合には、

自分自身との闘争（心理状態）

や周囲の状況（コートの状況、

声援など）が力を十分出せる

かどうかの要件になり、これ

をクローズドスキル（閉鎖的

技能）と言います。

ところが、平成十五年度の

公式試合から形競技もトーナ

メント制になりました。対戦

相手によって形を選び、順番が

先か後かで戦術があつたり、心

の動きや行動が過激になり、周

囲との摩擦が強くなり嫌われ

る原因を作つてしまします。

試合だけでなく練習でも、「嫌

な奴」と思われるで何う得は

ありません。周囲から良い知

恵を貰えなくなるからです。

外柔内剛と言う言葉があり

ます。内心（身）は毅然たる信

念と実力を持ちながら、外見

は心底から温和に人と接触で

できるなど望ましい姿です。実

力の裏付けがあつて、試合や練

習でも同様に振る舞えるなら、常

に相手の存在を意識して練習

に励み継続することです。

組手の練習では、相手の状

況によって多くの変化が求め

られます。これをオープンス

キル（開放的技能）と呼んでお

ります。

一方、単独で形の練習を行つ

たり、点数制の形競技の場合には、

自分自身との闘争（心理状態）

や周囲の状況（コートの状況、

声援など）が力を十分出せる

かどうかの要件になり、これ

をクローズドスキル（閉鎖的

技能）と言います。

ところが、平成十五年度の

公式試合から形競技もトーナ

メント制になりました。対戦

相手によって形を選び、順番が

先か後かで戦術があつたり、心

の動きや行動が過激になり、周

囲との摩擦が強くなり嫌われ

る原因を作つてしまします。

試合だけでなく練習でも、「嫌

な奴」と思われるで何う得は

いません。周囲から良い知

恵を貰えなくなるからです。

外柔内剛と言う言葉があり

ます。内心（身）は毅然たる信

念と実力を持ちながら、外見

は心底から温和に人と接触で

できるなど望ましい姿です。実

力の裏付けがあつて、試合や練

習でも同様に振る舞えるなら、常

に相手の存在を意識して練習

に励み継続することです。

組手の練習では、相手の状

況によって多くの変化が求め

られます。これをオープンス

キル（開放的技能）と呼んでお

ります。

一方、単独で形の練習を行つ

たり、点数制の形競技の場合には

道場紹介

Tohoku Geikodai

少数精銳！ひたすら大会出場を目指し汗を流す。

東北芸術工科大学

空手部



▲後列右端、齋藤氏、後列右から二番目が久我主将

山形市の東部、素晴らしい晴らしの良い高台に際立つ優美なデザインのとても洒落た校舎がある。平成四年に創立された東北芸術工科大学に空手道愛好会が出来たのは平成七年の事。山形中央高校空手部出身の齋藤紀彰氏が大学進学後も空手道を続けたと考へ、知り合った学友に声掛けた事がきっかけで当初十名前後が集まつてスタートした。

間もなく正式に「空手道部」に昇格試行錯誤を繰り返しながら今日に至っている。ピク時には四十名ほどの大所帯となつた事もあったが、常に毎年春に二十名前後の新入部員を迎え最終的には一、三名が残るというパターンを繰り返し、現在は四年生部員を入れて全部で八名という少人数ながら三年生の久我安弘主将を中心にはずれも空手道を愛するメンバーが結束を固めて練習に励んでいる。

芸工大空手道部の特徴は大

会出場を念頭に於いて、ひたすら組手の為の練習を行っている点である。基本の突き蹴りや、ミットを使っての打ち込み、約束組手を経て最終的には試合形式の自由組手を行って締めくくる。少数精锐という事情から、ここには全ての男女に男女の差別はなく総当たりで組手を行う。初心者も経験者も「強くなりたい」「試合で勝ちたい」との思いから時には励ましあい、時には悔しう涙を流しながら生懸命に稽古を積んでいるという。

練習の終わりには正座、黙想を行つた後に礼をして武道的な部分も採り入れている点は前述の齋藤紀彰氏を中心と

最後に取材に伺つた折に久我主将自ら玄関までお出迎え頂き快く取材に応じて頂きました。して誠に有難うございました。

した草創期のメンバーより受け継いでいる部分であろう。大学自身が芸工大という特性に加えて体育館の1—4コートを使っての練習の為、周囲の存在はどこか異次元の世界のよつな感じがするけれども現代の若い人達が様々な思いを抱きながら空手道の魅力を追求する姿は実際に清々しく、彼等の努力には今後益々の活躍を祈念して心よりエールを送りたいと思います。



▲試合を想定しての自由組手を繰り返し行う



やまがた空手MAP

PART
3

山形県空手道連盟/道場紹介

県内にはたくさんの仲間が空手道を武道・スポーツとして楽しんでいます。空手マップパート3では、県連に加盟する各地区の道場を紹介していきます。



山形市・深瀬道場



- 流派/和道会
- 師範/深瀬久男氏
- 設立/1987年4月
- 道場生/約80名

道場の目的は「空手道を通して育てよう健全なる心と体」。そして「継続は力なり」です。毎日こつこつと休まずに稽古を続けることで強い体と強い心が生まれます。最初の10年間は、ほとんどの子供達が中学校入学と共に止めてしまい、これからが本当に心も体も強くなっているのにと思いながら、歯がゆい思いを繰り返して来ました。しかし、最近ようやく中学入学後も空手を続ける子供が増え、東北中学生空手道選手権や全国中学生空手道選手権などの大会にも出場するようになりました。そしてその子供達が大学に進学して空手部に入部したり、強くなりたい一心で地元を離れ、東京の高校空手部に入部する子供や、県内の高校空手部に推薦で入学する子供たちも出てくるようになりました指導者として大きな喜びがあります。

道場正面に「心」の額が飾ってあります。これは高橋和雄氏（山形県知事）の直筆で16年前の道場開きに、吉村和夫氏（前山形市長・故人）より贈って頂いた、「強い心と思いやりのある心で空手道に励み、子供達を育ててほしい」と言う願いが込められたものです。これからも「心」の額を前に道場生と共に稽古に励み向上していきたいと思います。

練習日/少年部：毎週火・水・金曜日

一般部：毎週月・木曜日

練習場所/山形市鈴川町二丁目2-3

連絡先/023-622-3663

八幡町・至道館



- 流派/和道会
- 師範/佐藤英俊氏
- 設立/1989年4月1日
- 道場生/約15名

真理を極めることを目標に2000年に現在の名称に変更。

礼儀を重んじ、精神を鍛え、敵は相手でなく自分であることを悟り、己に勝てる人間形成を目指しています。

指導者も増え、少人数ながら、まとまりのある組織になってきました。各種大会にも積極的に参加しています。

自ら進んでやる価値を知ることと、技の極意を体視・体感・体得で磨きあげることの必要性を感じているところです。

練習日/毎週水・金曜日 午後6時～8時

練習場所/八幡町修道館（武道館）

連絡先/0234-64-3619

米沢市・空手道スポーツ少年団「嵐」



- 流派/松濤館流
- 師範/大武政通氏
- 設立/2000年
- 道場生/約60名

米沢市空手道スポーツ少年団「嵐」は、米沢三中空手道部を母体として平成12年に結成されました。現在、小中高合わせ約60名の子供達、そしてお父さんが子供と一緒に空手を始め、その3名がコーチとして私と共に指導にあたっています。練習日はレベル別となっており、月曜日がチャンピオンクラス、土曜日の前半が全体練習、後半がレベルアップクラス、土曜日の前半が全体練習、後半がチャレンジクラスとなっています。全体練習以外は希望制となっており、各自の級・そして目標に合わせ稽古に参加できるシステムとなっています。私たちの団にはスローガンとして「三つの心」があります。「努力する心」・「助け合う心」・「思いやりの心」の三つです。ただ強くなる、上手くなる空手は目指さず、心の成長を重視しています。以上、まだまだ若い支部、そして若い指導者ですが、子供達と共に空手道に全力に取り組んでいきたいと思います。

※16年度より代表は林崎朋義氏に変更。大武氏は米澤五条空手道クラブ代表として新しく加盟されました。

連絡先/0238-21-0267

指導者講習会 及び 公認段審査会



12月7日(日) 山形県総合運動公園剣道場において開催された指導者講習会は、県連会長の飛鳥宗一郎先生(文部科)

イシ)を、それぞれ指導していただいた。限られた時間内での講習でありましたが、非常に分かりやすいご指導で、約40人の受講者は、日常指導をいただく機会が少ないこの二つの形を会得しようと一生懸命で大変有意義な講習会がありました。講師のお一人には心から感謝申し上げます。

又、春季公認段位審査会は、

4月13日(日) 山形市総合入

口一センターにおいて、秋季

公認段位審査会は、指導者講

習会と同日にそれぞれ開催さ

れました。この結果、次の方々

が見事合格されました。残念

ながら合格できなかつた方々

には次回は合格されるよう

学省認定の競技力向上B級(チ、公認八段)からは、剛柔系の形「スーパー・リンペイ」を、県連理事長の工藤清先生(同、B級)、「チ、公認七段)からは、和道系の第二指定形「二一セイシ」を、それぞれ指導してい

ました。昨年を振り返ってみま

すと、さまざま出来事が思

い起こされ、時の速さに感慨

のものがあります。

県連にとりまして、多く

の出来事のなかで、昨年は特

に悲しむべき事が相次いだ年

でもありました。

それは、2月に理事野村敏

連の出来事のなかで、昨年は特

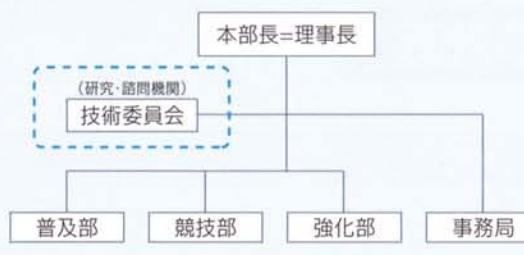
に悲しむべき事が相次いだ年

でもありました。

それは、2月に理事野村敏

連の出来事の

【事業本部組織図】



平成16年度の山形県空手道連盟総会が2月1日にあこや会館で開催された。会場には県内各地より役員、理事43名が参加。昨年死去された吉村和夫顧問、鈴木喜久夫副会長、野村敏夫理事の多大な功績と人柄を偲び黙祷を捧げたのち開会された。工藤理事長の昨年度総括に続き、平成15年度の事業報告と決算報告が行なわれ内容については異議なく承認された。また平成16年度の事業計画や各討議事項についても活発な意見が交わされた。

本年度役員改選については、

● 平成16年度の専門部事業計画

は以下の通りです。

ナショナルチーム監督)を

から現役員ほぼ再選となつた。

また、鈴木喜久夫副会長の後任には高体連空手道部長である東海大学山形高校校長山口謙郎氏、監事の中村雄一郎氏が常任相談役、後任の監事には長野義信氏、遠藤隆夫常任理事が強化副部長を専任する常任理事、後任の置賜地区代表の常任理事には菅井則明氏がそれぞれ選任された。

として大出敏夫氏(糸東会

理監修)を迎スジニアを対象として形指導を行なう

強化練習を開催する

③ 3月27日～28日中央講師会などを行なう

④ 県連指定の強化選手を中心とした強化練習・遠征試合などを行なう

⑤ 全日本選手権大会への派遣

※一部省略

式による旗判定を採用。

本年度より部の形競技では、

3人の審判で組手と同じトーナメント方式による赤青の旗判定を採用する。対象となる大会は、国体予選、東北総体予選会、社会人大会、県大会とする。尚、ジニア大会については、從来どおり5人の審判制で行なう。

⑥ 新しく3団体が加盟団体として承認されました。

① 米澤五条空手道クラブ

代表：大武政通

② 拳和会館山形県村山支部

代表：緑川寿幸

流派名：剛柔会

③ 日本空手協会鶴岡中央支部

代表：富樫弘行

流派名：白日本空手協会

練習場所：市武道館

④ スポーツビジョントレーニング手法の分析と整理

⑤ 技術委員会を7月に開催

平成16年度

山形県空手道連盟総会開催

とき／平成16年2月1日
ところ／山形県あこや会館

— 県連の平成15年度事業報告と新年度の活動内容を審議する総会が開催され、県内より理事43名が参加し活発な意見が交わされました。

● 競技部より提案事項があり左記の件について討議されました。

① 形競技は、トーナメント方式による旗判定を採用。

本年度より部の形競技では、

3人の審判で組手と同じトーナメント方式による赤青の旗判定を採用する。対象となる大会は、国体予選、東北総体予選会、社会人大会、県大会とする。尚、ジニア大会については、從来どおり5人の審判制で行なう。

※また大会ドクターについても大会運営規定に基づき医師に依頼をする。

いずれも万一の場合には、主催者の責任が問われる事となるため十分な配慮が必要である。

② 競技部より提案事項があり左記の件について討議されました。

③ 参加団体の監督基準について競技場では、監督者以外の入場を排除し、監督腕章の腕への着用を徹底させる。

また監督としての自覚ある行動・服装などにも気を配る様指導する。

④ 新しく3団体が加盟団体として承認されました。

⑤ 全日本選手権大会への派遣

※一部省略

式による旗判定を採用。

本年度より部の形競技では、

3人の審判で組手と同じトーナメント方式による赤青の旗判定を採用する。対象となる大会は、国体予選、東北総体予選会、社会人大会、県大会とする。尚、ジニア大会については、從来どおり5人の審判制で行なう。

⑥ 新しく3団体が加盟団体として承認されました。

① 米澤五条空手道クラブ

代表：大武政通

② 拳和会館山形県村山支部

代表：緑川寿幸

流派名：剛柔会

③ 日本空手協会鶴岡中央支部

代表：富樫弘行

流派名：白日本空手協会

練習場所：市武道館

④ スポーツビジョントレーニング手法の分析と整理

⑤ 技術委員会を7月に開催



① 2月14日～15日中央講師として前田利明氏(全空連)

強化部 部長／安達剛

競技部 部長／深瀬久男

技術委員会 委員長／田嶋光雄

③ 日本空手協会鶴岡中央支部 代表：富樫弘行

④ スポーツビジョントレーニング手法の分析と整理

⑤ 技術委員会を7月に開催

⑥ 新しく3団体が加盟団体として承認されました。

① 米澤五条空手道クラブ

代表：大武政通

② 拳和会館山形県村山支部

代表：緑川寿幸

流派名：剛柔会

③ 日本空手協会鶴岡中央支部

代表：富樫弘行

流派名：白日本空手協会

練習場所：市武道館

④ スポーツビジョントレーニング手法の分析と整理

⑤ 技術委員会を7月に開催

⑥ 新しく3団体が加盟団体として承認されました。

① 米澤五条空手道クラブ

代表：大武政通

② 拳和会館山形県村山支部

代表：緑川寿幸

流派名：剛柔会

③ 日本空手協会鶴岡中央支部

代表：富樫弘行

流派名：白日本空手協会

練習場所：市武道館

④ スポーツビジョントレーニング手法の分析と整理

⑤ 技術委員会を7月に開催

⑥ 新しく3団体が加盟団体として承認されました。

① 米澤五条空手道クラブ

代表：大武政通

② 拳和会館山形県村山支部

代表：緑川寿幸

流派名：剛柔会

③ 日本空手協会鶴岡中央支部

代表：富樫弘行

流派名：白日本空手協会

練習場所：市武道館

④ スポーツビジョントレーニング手法の分析と整理

⑤ 技術委員会を7月に開催

⑥ 新しく3団体が加盟団体として承認されました。

① 米澤五条空手道クラブ

代表：大武政通

② 拳和会館山形県村山支部

代表：緑川寿幸

流派名：剛柔会

③ 日本空手協会鶴岡中央支部

代表：富樫弘行

流派名：白日本空手協会

練習場所：市武道館

④ スポーツビジョントレーニング手法の分析と整理

⑤ 技術委員会を7月に開催

⑥ 新しく3団体が加盟団体として承認されました。

① 米澤五条空手道クラブ

代表：大武政通

② 拳和会館山形県村山支部

代表：緑川寿幸

流派名：剛柔会

③ 日本空手協会鶴岡中央支部

代表：富樫弘行

流派名：白日本空手協会

練習場所：市武道館

④ スポーツビジョントレーニング手法の分析と整理

⑤ 技術委員会を7月に開催

⑥ 新しく3団体が加盟団体として承認されました。

① 米澤五条空手道クラブ

代表：大武政通

② 拳和会館山形県村山支部

代表：緑川寿幸

流派名：剛柔会

③ 日本空手協会鶴岡中央支部

代表：富樫弘行

流派名：白日本空手協会

練習場所：市武道館

④ スポーツビジョントレーニング手法の分析と整理

⑤ 技術委員会を7月に開催

⑥ 新しく3団体が加盟団体として承認されました。

① 米澤五条空手道クラブ

代表：大武政通

② 拳和会館山形県村山支部

代表：緑川寿幸

流派名：剛柔会

③ 日本空手協会鶴岡中央支部

代表：富樫弘行

流派名：白日本空手協会

練習場所：市武道館

④ スポーツビジョントレーニング手法の分析と整理

⑤ 技術委員会を7月に開催

⑥ 新しく3団体が加盟団体として承認されました。

① 米澤五条空手道クラブ

代表：大武政通

② 拳和会館山形県村山支部

代表：緑川寿幸

流派名：剛柔会

③ 日本空手協会鶴岡中央支部

代表：富樫弘行

流派名：白日本空手協会

練習場所：市武道館

④ スポーツビジョントレーニング手法の分析と整理

⑤ 技術委員会を7月に開催

⑥ 新しく3団体が加盟団体として承認されました。

① 米澤五条空手道クラブ

代表：大武政通

② 拳和会館山形県村山支部

代表：緑川寿幸

流派名：剛柔会

③ 日本空手協会鶴岡中央支部

代表：富樫弘行

流派名：白日本空手協会

練習場所：市武道館

④ スポーツビジョントレーニング手法の分析と整理

⑤ 技術委員会を7月に開催

⑥ 新しく3団体が加盟団体として承認されました。

① 米澤五条空手道クラブ

代表：大武政通

② 拳和会館山形県村山支部

代表：緑川寿幸

流派名：剛柔会

③ 日本空手協会鶴岡中央支部

代表：富樫弘行

流派名：白日本空手協会

練習場所：市武道館

④ スポーツビジョントレーニング手法の分析と整理

⑤ 技術委員会を7月に開催

⑥ 新しく3団体が加盟団体として承認されました。

① 米澤五条空手道クラブ

代表：大武政通

② 拳和会館山形県村山支部

代表：緑川寿幸

流派名：剛柔会

③ 日本空手協会鶴岡中央支部

代表：富樫弘行

流派名：白日本空手協会

練習場所：市武道館

④ スポーツビジョントレーニング手法の分析と整理

⑤ 技術委員会を7月に開催

⑥ 新しく3団体が加盟団体として承認されました。

① 米澤五条空手道クラブ

代表：大武政通

② 拳和会館山形県村山支部

代表：緑川寿幸

流派名：剛柔会

③ 日本空手協会鶴岡中央支部

代表：富樫弘行

流派名：白日本空手協会

練習場所：市武道館

④ スポーツビジョントレーニング手法の分析と整理

⑤ 技術委員会を7月に開催

⑥ 新しく3団体が加盟団体として承認されました。

① 米澤五条空手道クラブ

代表：大武政通

② 拳和会館山形県村山支部

代表：緑川寿幸

流派名：剛柔会

③ 日本空手協会鶴岡中央支部

代表：富樫弘行

流派名：白日本空手協会

練習場所：市武道館

④ スポーツビジョントレーニング手法の分析と整理

⑤ 技術委員会を7月に開催

⑥ 新しく3団体が加盟団体として承認されました。

① 米澤五条空手道クラブ

代表：大武政通

② 拳和会館山形県村山支部

代表：緑川寿幸

流派名：剛柔会

③ 日本空手協会鶴岡中央支部

代表：富樫弘行



平成16年度事業・行事計画

日 程	事 業・行 事	場 所	日 程	事 業・行 事	場 所
1月 23日	県連会計監査	市内会議室	7月 11日	第22回県ジュニア選手権大会	天童市スポーツセンター
2月 1日	平成16年度県空手道連盟総会	県あこや会館	7月 18日	国体・東北総体県予選会	県総合運動公園
2月 14日 ～15日	県連事業指導者講習会 講師/前田利明氏 (ナショナルチーム監督)	天童市スポーツセンター	7月 31日	全日本少年武道錬成会	日本武道館
2月 21日	東北地区協議会代表者会議	仙台市	8月 1日	第4回全日本少年少女選手権大会	東京武道館
2月 22日	東北地区指導者技術講習会	仙台市青葉体育馆	8月 6日 ～ 8日	全国高校総体	島根県東出雲町
2月 28日 ～29日	ジュニア強化合宿練習会 2会場 県総合運動公園合宿所	県総合運動公園柔道場 天童市スポーツセンター	8月 20日 ～22日	第12回全国中学生空手道選手権大会	大分県別府市
3月 6日	公認4・5段審査会及び公認地区組手審判審査会	仙台武道館	8月 28日 ～29日	第31回東北総合大会	岩手県盛岡市
3月 7日	公認地区形審判審査会	仙台武道館	9月 4日 ～ 5日	山形県青少年武道錬成大会(日本武道館・県体育馆共催) 小・中・高校生対象予定	山形県体育馆
3月 20日 ～22日	全国高校選抜大会	宮城県グランティ21	9月 4日 ～ 5日	全空連3級資格審査員第2指定形講習会	東京都郵政体育馆
3月 27日 ～28日	形指導強化講習会 講師大出敏夫氏 (糸東会理事)	山形市スポーツセンター	9月 11日	村山地区高校新人戦	天童高校
4月 10日	全空連蓮見副会長叙勲受賞祝賀会	東京都	9月 12日	日本体育協会公認指導員義務講習会	宮城県武道館
4月 10日	全国形審判員講習会(午前中のみ)・全国組手審判員講習会	東京都郵政体育馆	9月 19日	第37回県空手道選手権大会	南陽高校
4月 11日	同上		9月 23日 ～25日	日本マスターズ空手道競技(第4回)	福島県下郷町
4月 24日	第3回東北学生個人選手権大会	大河原町総合体育馆	9月 26日	第3回東北大學選手権大会・新人戦	宮城県
4月 25日	審判員協議会総会	山形市スポーツセンター	10月 2日 ～ 3日	1・2級資格審査員研修 競技力向上指導者義務講習会	名古屋市スポーツセンター
4月 25日	県審判員講習会・公認段位審査会(初段～三段)	山形市スポーツセンター	10月 3日	第12回県少年少女交流大会	新庄市
5月 8日	村山地区高校総体	東海大学山形高校	10月 24日 ～26日	第59回国民体育大会	埼玉県上里町
5月 9日	第33回社会人大会	県武道館	11月 6日	県高校総体新人戦	県総合運動公園
5月 16日	第7回東北中学校選手権大会	宮城県武道館	11月 14日	第15回県ジュニア選抜選手権大会	鶴岡市
5月 23日	山形市大会	山形市スポーツセンター	11月 20日	公認6段審査会	大阪府立体育馆
5月 29日 ～30日	全空蓮1・2級資格審査員第2指定形講習会	東京都郵政体育馆	11月 21日	公認7段審査会	大阪府立体育馆
6月 5日	県高校総体	山形市スポーツセンター	12月 5日	県連形講習会・公認段位審査会(初～三段)	県総合運動公園剣道場
6月 13日	全日本小学生・全国中学生大会山形県予選会	県総合運動公園サブ	12月 12日	第32回全日本空手道選手権大会	日本武道館
6月 20日	東北大学総体	宮城県東北大学	1月 28日 ～30日	東北高校選抜大会	宮城県スポーツセンター
6月 26日 ～27日	東北高校総体	青森県十和田市			